

大正駅(JR環状線)③

大阪ドームから大阪市電発祥の地へ

ドーム前千代崎駅・大正駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)

ドーム前駅(阪神なんば線) 九条駅(地下鉄中央線・阪神なんば線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.117

JR・地下鉄大正駅

大正駅から府道173号線沿いの岩松橋を北に向かうと、左手に大きなドームが見えてきますが、それが京セラドーム大阪です。橋を越えて西区千代崎に入っていきます。

①京セラドーム大阪

平成9年(1997)に大阪ガス工場跡地に完成しました。東京ドーム、福岡ドームに次ぐ日本3番目のドーム球場です。プロ野球のオリックス・バファローズの本拠地で阪神タイガースも主催公式戦の一部を開催しています。また、草野球向けの一般貸し出しも可能です。

②天満宮行宮

天神祭の船渡御は、現在は大川上流に遡りますが、明治期から昭和初期までは大川から江之子島に上陸。その後、陸路で松島の天満宮行宮(御旅所)を目指しました。その後、松島遊郭で夜通し遊び、翌朝に天満に帰ったといわれます。しかし戦後の地盤沈下によって船が橋をくぐれなくなったため、現在のようなコースに改められました。



③千代崎橋

明治初期の木津川は、高い帆柱を有した船が数多く往来したため、橋を架けるのにも舟運と陸上交通を両立させる工夫が必須

でした。明治5年(1872)に架橋された初代千代崎橋は、その課題を克服するために、橋板の中央部分が開く構造になっていました。また橋の反りも大きく、珍橋として浪花名所になりましたが、明治18年(1885)の淀川大洪水によって流出しました。現在の橋は昭和2年(1927)架橋の2代目です。

④大阪市電創業の地碑

明治36年(1903)、九条新道の花園橋を起点に築港埠頭までの約5キロに大阪市電が開通。公営による電気鉄道は日本初の快挙でした。最盛期には総延長約110キロまで路線が拡大、市電としては東京都電に次ぐ規模に達しましたが、戦後に中馬馨大阪市長が大阪港防波堤工事を田中角栄大蔵大臣に陳情した際に「防波堤工事は国がやるが代わりに大阪市電廃止を」(角栄は日本列島を高速道路、新幹線で結ぶ列

島改造論者だったので)といわれ、結局、市側はそれを承諾。高速道路主体、自動車偏重の都市計画が進み、大阪市民に愛惜されながらも昭和44年(1969)に大阪市電はその栄光の歴史を終えました。



⑤茨住吉神社

かつて当地には樹齢約700年の楠がありましたが大阪空襲で焼け、しかしご神木としていまでも大切に保存されて「焼け楠」と呼ばれています。

地下鉄・阪神九条駅

